

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス いろいろ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026 年

1 月

1 日

法人（事業所）理念		『こどもを中心に、家族・職員・地域がともに育つ』 一人ひとりの「好き・得意・できる」を大切に、こどもの可能性を広げます。ご家族と成長とともに喜び、職員もともに学び、地域とのつながりの中で、こどもを取り巻くすべての人が豊かになれる環境を目指します。										
支援方針		『一人ひとりの彩を大切に、自分らしく社会へはばたく力を育む』 「いろいろ」という名には、ふたつの願いを込めています。ひとつは「彩」。こどもたちは一人ひとり違った個性や特性、好きなこと、得意なことを持っています。その違いをその子らしい「彩り」として大切にし、それぞれの良さが輝き、可能性が広がっていくことを願っています。 もう一つは「自分の力で羽ばたくこと」。安心できる環境の中で様々な経験を重ね、「できた」「やってみたい」という気持ちを育みながら、自分で考え、学び、行動する力を身に着けてほしい。そして、やがて自分らしく社会の中へ羽ばたき、生き生きと暮らしていけることを願っています。 私たちは、一人ひとりの今の姿を大切にしながら、その子らしい未来へつながる支援を行います。										
営業時間		平日 学校休業日					9 時 30 分から 18 時 15 分まで		送迎実施の有無		あり なし	
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	『「自分でできる」を増やし、生活する力を育てる』一人ひとりの発達段階や特性に合わせ、食事・排泄・着替え・片付け・身だしなみなど、日常生活に必要な力を育みます。また、スケジュールや視覚的な手がかりを活用し、見通しを持って行動したり、自分の体調や気持ちに気づいたりする力を育てます。										
	運動・感覚	『身体を知り、楽しく動き、自分でコントロールする力を育てる』遊びや運動を通して、身体の使い方、姿勢、バランス、力加減、手指の巧緻性などを育みます。感覚統合の視点も取り入れ、一人ひとりの感覚特性に配慮しながら、自分の身体を適切に使う経験を重ねます。										
	認知・行動	『自分で考え、選び、行動する力を育てる』『分からないからできない』で終わらせず、本人が考えたり試したりする過程を大切にします。視覚的な情報や具体的な経験を活用しながら、物事の理解、時間・数量・文字などの認知、問題解決、状況に応じた行動につなげます。										
	言語コミュニケーション	『「伝えたい」「分かりたい」を育て、人とつながる力を身につける』言葉だけでなく、表情や身振り、絵や視覚的な手がかりなど、一人ひとりに合った方法で「伝える」経験を大切にします。自分の気持ちや要求を表現するとともに、相手の話を聞き、場面や相手に応じたコミュニケーションを身につけられるよう支援します。										
	人間関係社会性	『人とのかつがわりを楽しみ、地域・社会の中で生きる力を育てる』安心できる職員との関係を土台として、友達との遊びや集団活動へと関係を広げます。順番・ルール・協力・相手の気持ち・適切な距離感などを実際の経験から学びます。また、事業所内だけで完結させず、地域での買い物や外出、地域の方との交流を通して、実践的な社会経験を積み重ねます。										
家族支援		『ご家族とともに、こどもの育ちを支える』 ご家族をこどもの成長とともに支えるパートナーと考え、日々の様子や小さな成長を共有しながら、一人ひとりに合った支援と一緒に考えます。子育ての悩みや困りごとにも寄り添い、ご家族が安心してこどもの成長を見守れるよう支援します。					移行支援					
地域支援・地域連携		『地域とつながり、社会の中で生きる力を育てる』 こどもたちが地域社会の一員として様々な人や場所とつながり、実際の経験を通して社会生活に必要な力を身につけられるよう支援します。また、学校・相談支援事業所・医療機関・地域事業者等と連携し、地域全体でこどもの育ちを支える環境づくりを目指します。					職員の質の向上					
主な行事等		季節行事、買い物・調理体験、公共施設等への外出、高齢者デイサービスへの訪問・世代間交流、地域の方や事業者との交流、水遊び、制作活動など、地域社会とのつながりの中で様々な人や経験に触れられる活動を実施しています。										